



第87回 鳥取県東部地域メーデー大会 報 告

5月1日(日)、県内3会場に約5,300人が集い、「第87回鳥取県メーデー大会」を盛大に開催しました。連合鳥取東部地協においては、東部地域メーデー大会と位置づけ、千代川市民スポーツ広場に約1,500人の働く仲間・家族が結集し、労働者の団結と要求をしっかりと地域にアピールしました。

オープニングセレモニーとして、シンガーソングライター「奈都子」さんの歌声で幕を開けました。

続いての式典では、主催者を代表して山根メーデー実行委員長(議長)が「人と人の「つながり」や「絆」を再度認識し合い、安心して暮らせる明るい未来を切り拓くためにも、連帯の輪を拡大し、目指すべき社会の実現に向け取り組みを進めていくこと」とメーデーの意義とあわせて力強く訴えました。さらに、「働く者や生活者の声を国会に反映させるためにも、私たちの支援・支持する働く者の代表を何としても国会へ送り出さなければならない。そのためにも、今夏予定の参院選では皆さんの絶大なるご支援を心からお願い申し上げます」と支援と協力のお願いが述べられました。

メーデースローガン

支え合い 助け合う 心をひとつに力を合わせ、暮らしの底上げを実現しよう!



次に、連合鳥取を代表して田中事務局長が「今、最も重要なことは県民の暮らしの底上げだ。格差、貧困、社会的な不条理に敢然と立ち向かい、働くことが正当に報われるよりよい社会をともに創っていきましょう!」と連帯のあいさつが述べられた後、深澤鳥取市市長、木村民進党県連政策調査会副会長(鳥取県議)の2名から来賓を代表してあいさつをいただきました。

その後、川柳の表彰を行い、お楽しみ抽選会で盛り上がった後、プラカードコンクールと進み、メーデースローガンの確認、メーデー宣言・特別決議の採択を行い、山根議長の力強い「団結がんばろう」で式典が締めくくられました。そして、バードハット(鳥取大丸前)までデモ行進を行い、しっかりと地域にアピールしました。



「働くことを軸とする安心社会」を実現しよう

プラカードコンクール出展作品

